

興を積極的にやりたい。

議員 世田谷区が自慢でできる特産品やお土産づくりを進め52店52品目の商品を紹介する冊子「せたがやスピリッツ」を配布している。三鷹ならではの特産品・お土産品の創出について、市は、この意欲的な取り組みを参考にしようか。

市長 特産品開発に関する市民や民間事業者の積極的な取り組みを支援する。

議員 地域の歴史や文化、観光を問う「ご当地検定」が各地でブームだ。三鷹を再発見する検定の波及効果が何より大切で「もてなしの心」を育て、市民一人ひとりが「観光大使」と呼ばれる三鷹を目指してほしい。

副市長 みたか観光ガイド協会を中心に検討中で、趣旨をぜひ取り入れたい。

医療と保健の充実で 市民の健康増進を



公明党 緒方 一郎 議員

議員 医療制度改革の一つに、疾病の予防を重視した保健・医療体系への転換がある。生活習慣病対策の特定検診・保健指導の義務化によって、市民へどのようなメリットがあるのか。

市長 業務の徹底と、的確な保健指導が可能となる。

議員 検診や保健指導については、アウトソーシングの可能性が強いと考える。委託先の選定や市との連携の基本的な考え方を聞く。

市長 個人情報的重要性を認識し、適切に対応する。

議員 国の制度改革に伴って、市の施策や組織体制を早急に見直すべきだ。

市長 市民部と健康福祉部が連携して検討を進める。

議員 がん対策基本法が制定された。がん克服のため総合的・計画的な対策を推進していく必要がある。今後の展開への考えを聞く。

市長 がん対策の推進を市民の健康保持への最大の課題ととらえ、検診等を行う。

議員 市民のがん治療に伴

支援の拡充に努めていく。

その他の質問 子どもの居場所づくりと学校環境

コミュニティバス等市内バス交通の見直し／高齢化の中の住まいの確保について

議員 いじめ問題が社会問題化している。これまでの取り組みが生かされていない。残念だ。所感を伺う。

教育長 過去の教訓を生かせず大変残念だ。いじめ問題の解決は、全教育者にとつて大きな課題である。

議員 過去に国は、いじめ対策緊急会議を設け対策を講じたが、その後もいじめは起きている。いじめの原因がどこにあるのかを明らかにし、絶対出さないという思いで学校現場の取り組みを継続させるなど、根本的な解決が必要である。

教育長 人間関係を構築する力の未熟さや家庭の教育力の低下、教員の配慮不足など多様な要因が複雑に重なり合っている。教育委員会等を含めて迅速かつ組織的に対応していきたい。

議員 いじめの件数、数値が各調査により異なっている。市の現状と取り組みは

いじめ 継続した対応で 根本的な解決を



公明党 久保田 輝男 議員

どうなっているのか。

教育部長 平成18年11月の市の緊急実態調査では、嫌な思いをした経験のある小学生は約22%、中学生は約9%。仲間外れなど嫌と感じることが今も続いていると答えた小学生は11.3%、中学生は6.9%であった。

議員 学校内でのいじめは犯罪か教育の問題かという視点で、その取り扱いが変わってくる。見解を伺う。

教育部長 大変難しい問題だ。子どもにとり何が一番適切かというところでの判断になるかと思われる。

議員 茨城県下館中学校の「君を守り隊」は、生徒一人ひとりが隊員として、いじめられている仲間がいなか見回るなど、いじめ対策で効果的な結果がでているようだ。所見を聞く。

教育部長 自主的な活動を通して、主体的、自主的な取り組みをするよう、学校に働きかけていきたい。

議員 児童保育所や登下校時における、いじめへの対応はどうなっているか。

生涯学習担当部長 学校や社会福祉協議会など各関係機関と連携して、多面から見守っていききたい。

その他の質問 市長の市政に関する基本姿勢について／道路問題と本市の将来都市像について



登下校時のいじめ対策も必要だ

外環に関する要求の 確約を担保せよ



市民の党 斎藤 隆 議員

議員 東京外環状道路は三鷹の環境や地域に重大な影響を及ぼす。所見を伺う。

市長 周辺地域への影響や対応策について国及び都に適切な対応を求めていく。

議員 外環の設置は全市民的に市民の意向調査を実施して意思決定すべきである。

広域まちづくり等担当部長 国・都での意向調査や、意見を聞く会での住民意見の収集などを経て、現在示されている案に至ったと理解している。現段階では市の意向調査は考えていない。

議員 インターチェンジの設置による、児童や高齢者への心身・生活への影響が心配である。対応を問う。

市長 今後も周辺地域の環境影響を極力低減させ、子どもや高齢者も不安なく生活が送れるよう、国・都に適切な対応を求めていく。

議員 今回の環境影響評価準備書は、市民の不安や懸念を払拭するまでには至らなかったようだ。換気所やインターチェンジの設置などによる環境への影響については、今後も真しな対応を国・都に求めて欲しい。

生活環境部長 今後も環境影響の軽減に向けた適切な対応を求めていきたい。

特別支援すべての子どもが 教育自己実現できる支援を



市民の党 杉本 英騎 議員

議員 本市の特別支援教育の今後の方策をまとめた報告書について聞く。通常の学級に在籍する軽度の発達障がい及びその傾向を有する児童・生徒には特別な支援が必要と言われる。担任教員を補助する「特別支援教育ボランティア」の養成だけでなく、専門知識を有した教職員の養成と配置こそが必要だ。考えを聞く。

教育長 配置については都に要望していきたい。

議員 特別支援教育でのセクシー機能を持たせるため各中学校区への心身障がい学級（固定）と通級指導

効率性に留意して 市の諸施策を実施せよ



未来の三鷹を創る会 増田 仁 議員

議員 民間人による行革の推進を検討せよ。

市長 市民等の意見を聞き適切な取り組みをしたい。

議員 選挙の開票を効率化し、時間短縮をすべきだ。

選挙管理委員会委員長 改善に努めていきたい。

議員 男女平等参画のホームページ管理について、①意識調査結果を公表せよ②関連情報を一括掲載せよ。

企画部長 ①概要版の掲載などを検討したい②現在取り組んでいるところだ。

議員 ダイバーシティ（多様性受容）の普及に努めよ。生活環境部調整担当部長

周知・普及に努めたい。

議員 市内男性の男女平等参画意識の改革が必要だ。

企画部長 今後も啓発活動の充実を努めていきたい。

議員 障がい者への理解を広めるため、駅や商店街などの場で障がい者のアート事業を考えてはどうか。

健康福祉部長 市民協働で心のバリアフリーを定着させる努力を続けたい。

議員 児童・生徒の交流事業等として、障がい者が参加したアートワークショップを検討してほしい。

教育部長 交流のあり方を検討していきたい。

子どもの居場所を 行政は真剣に考えよ



未来の三鷹を創る会 半田 伸明 議員

議員 障がい児の放課後対策は、働きたくても働けない保護者の現状をいかに改善するかが課題だ。心身障がい学級のある小学校に隣接した児童保育所の定員を拡大すべきだ。所見を問う。

生涯学習担当部長 保育員の熟練度や施設面の整備を踏まえ、一定の受け入れ枠の拡大を図ってほしい。

議員 心身障がい学級から他校の児童保育所へ移動を伴う場合、送迎の負担が保護者の就労を妨げている。

教育部長 民間との連携に民間団体等と連携して、問題解決の方法を研究せよ。

設定すべきではないか。

生涯学習担当部長 原則として、保護者や代理人の送迎によることとしている。他の方法については、今後の検討課題としたい。

議員 北野ハピネスセンターを、障がい児の放課後の居場所に活用できないか。

市長 現状では難しい。

議員 いじめ問題は、被害に遭っている子どもを緊急に救い出すことが大事だ。民間団体等と連携して、問題解決の方法を研究せよ。

教育部長 民間との連携については、個人情報の扱いなどで難しい問題がある。